

論文

並列を表す“既…也…”と“既…又…”の使い分けについて

周 知臨¹

Different uses of “Ji...Ye...” and “Ji...You...” in Parallel Expressions

Zhilin ZHOU¹

ABSTRACT

This research is about the use of “Ji...Ye...” and “Ji... You...” in parallel expressions, especially their functional meaning and for the use of the conditional. Based on the investigation of these two language marks, I make forecasts on how to use them when learning Chinese as a second language.

As a result of the analysis, I came to the following conclusions: When “Er” is put in front of “You”, the antecedent contradicts with the consequent, while the interrogative words are preposed, so “Ji...Ye...” should not be used. In the case of part parallel or choose parallel, the subject of the antecedent and consequent are different while they are cumulative in relation, containing the meaning of modality of forbid, so “Ji...You...” should be used in limited conditions. Both “Ji...You...” and “Ji...Ye...” could be used in language environments such as expressing the potential meaning, “V+Le” model to show the change result, to express the judgment meaning, and to express ownership or existence.

キーワード 使い分け, 並列, 置き換え, 共起制限

Keywords: different use, parallel, replacement, co-occurrence restrictions

1. はじめに

現代中国語における“关联词组”の“既…也…”“既…又…”はいずれも並列の意味・機能を果たしている。この二つの形式は並列関係を結ぶ形として認定されているが、両者によって結ばれる並列関係は必ずしも全てにおいて同様であるとは限らない。具体的にいえば、“既柔软又坚硬”は“既柔软也坚硬”のように置き換えることができず、“那么保证金既可以全额没收, 也可以部分退还”における“也”も“又”で置き換えることができない。なぜこのような現象が生じているのだろうか。このことについては、これまでの研究では具体的なルールが示されていないようである。

そこで、本稿では、“既…也…”“既…又…”の使用条件に焦点を当てて、どんな場合に“既…也…”が容認され、どんな場合に“既…又…”が容認されるか、またどんな場合に“既…也…”“既…又…”の両方が容認され

るかについて具体的なルールを示したい。

2. 先行研究の問題点と本稿の立場

“既…也…”“既…又…”に関する従来の研究(房玉清 2001、邢福义 2001)は、多くが意味解釈の観点からなされている。それを“也…也…”“又…又…”の意味・用法と照らし合わせて解釈されるのが普通である。

例えば、房玉清(2001: 241-242)では“关联词组”としての“也…也…”“又…又…”“既…也…”“既…又…”の意味素性について“都表示属性的并列”(いずれも属性の並列を表す)のように述べている。

しかし、房玉清(2001)のような捉え方では、“既…也…”“既…又…”の使用条件を十分に明らかにすることができない。“也…也…”“又…又…”“既…也…”“既…又…”の意味・機能は属性に限らず、ほかの場合にも分布しているからである。その上、房玉清(2001)では、

¹ 891-0197 鹿児島市坂之上8-34-1 鹿児島国際大学大学院国際文化研究科博士後期課程

Doctor course of Intercultural Studies, The International University of Kagoshima, 8-34-1 Sakanoue, Kagoshima 891-0197, Japan
2015年5月30日受付, 2015年8月6日採録

“既…也…” “既…又…” の使い分けについてまったく触れていない。

一方、“既…也…” “既…又…” の使い分けについて、邢福义 (2001: 167) では“并列句的前项和后项之间有时既可以用‘既…又…’，也可以用‘既…也…’。但是，用‘既…也…’，后项表示补说另一层相关的意，重点一般在前项；用‘既…又…’，后项表示另起一层独立的意思，前后两项都被强调。”(並列文の前件と後件の間に、“既…又…”は使えるし、“既…也…”も使える。しかし、“既…也…”を用いる場合、並列の後件は意味を補充するという役割を果たし、ポイントは前件にある。“既…又…”を用いる場合、後件はもう一つの独立の意味を表し、前件と後件の両方が強調される。)のようにされている。

邢福义 (2001) の「ポイントは前件にあるかないか、前件と後件が強調されているかどうか」というような説明ではただ意味分析の観点からなされており、両者の使い分けを区別することが困難である。例えば、以下の例 (1) (2) (3) を説明するのに、役に立たないように思われる。

- (1) 朱金元是一位资深编辑，他从读者的角度来看书，认为一定存在一种既有品位而又 (*也) 好看的学术著作，好书应该是能够给专家以启发，又能获得普通读者喜爱的。(《新京报》2014年4月13日) (朱さんは編集として、豊富な経験を持っており、読者の角度から読んだ時にも、品格がありながらも読みやすい学術著作が必ず存在すると思っている。いい本は専門家に啓発を与え、その上一般の人にも好むべき存在である。)
- (2) 如果先前的取保候审违反了相关规定，那么保证金既可以全额没收，也 (*又) 可以部分退还。(《人民网》2003年8月18日) (かつては、保釈規則に違反した場合は、保証金は全部没収してもいいし、部分返還してもいい。)
- (3) 梦，真是个奇妙的东西，既能让人顿时欢喜，又 (*也) 能解人忧愁，最重要的，是能让人们对未来生活充满了希望。(《人民网》2013年3月27日) (夢は本当に素晴らしいものである。人をあっという間に喜ばせることもできるし、人の悩みを解消させることもできる。一番大切なのは、未来への生活に対して希望を持たせてくれるのである。)

例 (1) では、“既…也…” が排除され、例 (2) では“既…又…” が容認されない。それに対して、例 (3) では“既…又…” “既…也…” の両方が容認される。

なぜ例 (1) の“既…又…” は“既…也…” で置き換えることができず、例 (2) の“既…也…” は“既…又…” で置き換えることができないか。さらに、なぜ例 (3) では“既…又…” も“既…也…” も容認されるのか。このことについて邢福义 (2001) が示したルールでは十分に説明することができない。

例 (1) では、“又”の前に置くものは“而”であるので“既…也…”が容認されないのである。邢福义 (2001) では“既…又…”を用いる場合、後件はもう一つの独立の意味を表し、前件と後件両方が強調される」といっているが、そのなかの「独立の意味」とは何か不明である。また、「強調されるもの」とは何なのかということについて、邢福义 (2001) では、はっきりとされていない。例 (2) では、前件の“全部没収”と後件の“部分退还”の中から一つの行動を選ぶということになる(以下では、選択並列と呼ぶことにする)。このような文では、“既…也…”しか容認されない。いわば、“既…也…”を用いる場合、並列の後件は意味を補充するという役割を果たし、ポイントは前件にある」とされたようなものではなく、選択の意味を含む並列関係であれば、前件と後件のどちらが選ばれるかということは確認できない。ゆえに、ポイントは前件にあるか、後件にあるかのような分析だけでは、誤用や誤解が生じやすくなるのである。また、例 (3) では、前件としての“能让人顿时欢喜”であれ、後件としての“能解人忧愁”であれ可能を表す“能”が後続しているから、両者の置き換えは容認される。以上述べたような意味的条件または構文的条件は“既…也…” “既…又…” の使い分けに何らかの影響を与えているのかもしれない。

以上の分析を巡って、もっと明確にこの二つの形式のつながりと隔たりを明らかにするため、類義研究の観点から分析する必要があるように思われる。本稿は意味・統語の観点から分析し、次の三つの仮説を提示する。

- ① “既…又…” しか使えないケース
- ② “既…也…” しか使えないケース
- ③ “既…又…” も “既…也…” も使えるケース

以下では、先行研究の観点を踏まえて、この三つのケースを中心として、“既…又…” と “既…也…” の使用条件を明らかにする。

3. “既…又…” しか使えないケース

“既…又…” しか使えないケースはさらに、① “而” が “又” の前にくる場合、② 前件と後件の意味が矛盾す

る場合、③“既…又…”に前置するものは疑問詞である場合の3つに分類することができる。以下、意味の関係と構文的条件に焦点を当てて、順次に述べる。

3.1. “而”が“又”の前に来る場合

“既…又…”が並列を表す場合や“又”に前置する語が“而”である場合は、“既…也…”で置き換えることができない。

- (4) 她望着我的眼睛 既亲切, 而又温情, 我的心绪惶惶不安, 对她立下了爱情的海誓山盟。(《人民网》2010年1月28日)(彼女は私の目を親切に、優しく見つめている。私の心は落ち着かないうちに、彼女に愛の契りを結んでいた)
- (5) 按说, 它本来是一个既有传奇色彩而又具有严肃意义的题材: 党对一支“土匪”部队的改造。(《当前电影创作中的二三问题》1981年5月1日)(理屈からいったら、あれはもともと不思議な特色を持ちながら真剣で有意義な体裁である。党は「匪賊」部隊としての改造は。)
- (6) 在冬季如果能恰当选择既美味, 而又具有补益身体的食物, 无疑会让大家接受。(《新华网》2014年12月25日)(もし冬に美味しく、体に益がある食べ物を適当に選べるなら、必ず皆に受け入れられる。)
- (7) 本次展览就取法来看, 这些作品以汉隶为主, 但又各有侧重; 就形式而言, 既有传统而又¹不失创新。(《人民网》2012年10月15日)(今回の展覧会は選んだ作品から見ると、漢時代隷書に集中しているが、個々作品の偏重するところもある。形から見ると、伝統的で、オリジナリティーも失わない。)

例(4)～(7)の構文的特徴を究明するために、まず“又”と前に置く“而”との接続条件から分析する必要がある。常識から見れば、“而”は同類、関連するもの、相反するもの、または肯定型・否定型を連ねて補い合うものを接続することが可能である。それに対して、“也”である場合は事柄が同時に存在することや前件に述べた事柄と同様の事柄が存在することといった意味を表している。つまり、前件と後件との関係には類義性が必要である。

しかしながら、“又”はそれだけではなく、相反するものを結合することも可能である。いわば“又”と“而”が要求するものは同じである。“也”はそのような機能を持っていないため、制限されているのである。そのため、構文的観点から考えれば、“而”は“又”と共起す

ることができるが、“也”と共起することができない。

3.2. 前件と後件が矛盾関係である場合

ここでいう矛盾とは、絶対とは言えないが、両立しがたい、互いに排斥しあうような事物・傾向・力などの関係を指す。つまり、“既”の後続要素と“又”の後続要素が相容れない関係である場合は“既…也…”で置き換えることができない。

- (8) 为数不少的地下六合彩彩民心里很矛盾, 他们既控制不住自己, 沉迷于六合彩, 又(*也)痛恨六合彩泛滥。(《人民网》2003年5月8日)(闇の宝くじを買った人たちはとても心苦しい。彼たちは自分をコントロールできず、宝くじに溺れ、また宝くじの氾濫を憎んでいる。)
- (9) 对于许多家庭来说, 既离不开保姆, 又(*也)害怕“黑保姆”。(《市场报》第六版2003年5月27日)(多くの家庭にとって、使用人がいなくては困るが、資格のない使用人に遭っても困る。)
- (10) 而主持人元元, 凭着一张既亲切又(*也)损的嘴, 成了京城百姓的知心人, 屏幕前的元元是大家的熟人了, 屏幕后的元元您了解吗? (《精品购物指南》2003年7月30日)(なのに司会者元さんは、その親切で且つ機嫌を損なわれる口に頼って、首都皆さんの親友になった。スクリーン前の元さんが皆によく知られているが、実の元さんはご存知でしょうか。)
- (11) 大白天送这样重要的信, 既不要惹人注意, 又(*也)必须完成任务。(语料库《荷叶台》1965-11-12)(昼間でこんな重要な手紙を送る場合、人に気付かれてならず、また任務を完了しなければならない。)
- (12) 别小看了这导管, 它可是既柔软又(*也)坚硬。(《江南时报第十四版》2003年5月7日)(このカテーテルをなめるなよ。柔軟性を持つと同時に、硬い。)

統語論の観点からみると、例(8)(9)(10)(11)(12)では、“既”の後続要素としての“沉迷于六合彩”“离不开保姆”“亲切”“不要惹人注意”“柔软”と“又”の後続要素としての“痛恨六合彩”“害怕‘黑保姆’”“损”“必须完成任务”“坚硬”との間に、矛盾、つまり客観的に二つの事柄が同時に共存することが困難であるという意味が含まれる。このような文環境では、“也”が排除される。

3.3. 疑問詞が前置する場合

“既…又…”の前に置くものは“怎样”のような疑問詞である場合、または文末に置くものは疑問終助詞である場合、“既…也…”で置き換えることができない。

- (13) 又想到《劳动合同法》实施之时，企业要支付更多的劳动力成本，那时还没有用工荒，企业想的多是怎样既不违法又能保持低成本用工和随时让工人走掉。（《人民网》2014年2月26日）（《労働法》実施に至る時を考えれば、企業はより多くのコストを支払う必要がある。その時にはまだ人手不足ではないので、企業はいかに低コストで労働力を使用し、いつでも解雇できるのだ。）
- (14) 今年10月1日是共和国60周年大庆，世界各国都在关注国庆会有怎样既节约，又盛大的阅兵式，西方尤其关注当天解放军是否展示最新军备。（《人民网》2009年1月21日）（今日の十月一日は中国60周年の祝いである。世界の各国はこの祝いが如何なる節約で、盛大な阅兵式があるのかを見守っている。欧米はその日に中国の軍隊は新たな装備を展示しようかどうか特に関心を持っている。）
- (15) 面对含蓄的老人，怎样既尊重，又自然地了解他们的心愿呢？（《人民网》2011年5月27日）（含蓄のある老人に対して、どうやって彼たちの願いを尊敬して、自然に理解できるのか。）
- (16) 什么应该报道？什么不应该报道？记者究竟应该怎样既敬业，又恪守新闻伦理道德呢？（《人民网-传媒频道》2012年11月12日）（何を報道すべきか、何を報道すべきでないのか、記者はどうやって仕事に勤勉し、新聞界の倫理と道徳を守り続けるのでしょうか。）

疑問詞の“怎样”が文中に現れた場合、また疑問詞の“怎样”だけではなく、疑問終助詞“呢”が文中に現れた場合、“既…也…”が用いられることはほとんどない。つまり、疑問詞あるいは疑問助詞が文中に現れた場合、“既…又…”しか用いることができない。

4. “既…也…”しか使えないケース

この節では、“既…也…”しか使えないケースをめぐって分析する。“既…也…”しか使えないケースもさらに、①選択の意味をあらわす場合、②前件と後件が異なる主語を有する場合、③禁止のモダリティが文に含まれた場合、④前件と後件が累加関係を表す場合のように四分類することができる。

4.1. 選択の意味を表す場合

並列とはいえ、そのマーカーや接続条件によって、意味が変わる。“既…又…”も“既…也…”も一般的な並列関係を構成することができるが、選択並列である場合は、“既…也…”しか使えない。

- (17) 如果先前的取保候审违反了相关规定，那么保证金既可以全额没收，也可以部分退还。（《人民网》2003年8月18日）（例2再掲）
- (18) 陈渝：我们的酸奶，你既可以用鲜奶也可以用奶粉去做，全都用奶粉来做了，鲜奶不就节约下来了么，是可以替代的。（《中国广播网》2013年11月15日）（陳さんは、このヨーグルトは新鮮な牛乳で造れるし、粉ミルクで作ってもいい。全部粉ミルクで作ったら、新鮮な牛乳が節約できる。両者は取って代わることができると言っている。）
- (19) 劳动者有依法参加和组织工会的权利，但这是权利而非义务，权利既可以行使，也可以放弃。（《重庆日报》2013年8月13日）（労働者は法律に従い労働組合を参加と組織する権利がある。しかしこれが権利でありながら義務ではない。この権利は使ってもいいし、放棄することもできる。）
- (20) “给了40秒的时间，要记忆10个毫无关联的词，然后默写出来，如柏树、小鸟、太阳、石油、公园等，这些既可以硬记，也可以自己想些关联性帮助记忆，如柏树上有只小鸟等，很有意思。”（《四川在线》2012年6月20日）（四十秒の時間で、無関係な単語を十個覚えて、文に書きとる。例えば、コノテガシワ、鳥、太陽、油、公園など。これらのものは無理やりに暗記してもいいし、自分でなんらかの関連性で覚えることをサポートすることもできる。）

選択の意味を含むということは、つまり、前件と後件のどちらかを選んで、一つのことを実現するということである。いわば両者択一を含意する文でなければならない。例(17)の“全额没收”（全部没収）と“部分退还”（部分返還）、例(18)の“用鲜奶”（新鮮な牛乳で）と“用奶粉”（粉状牛乳で）、例(19)の“行使”（使う）と“放弃”（放棄する）、例(20)の“硬记”（無理やりに覚える）と“自己想些关联性帮助记忆”（自分で何らかの関連性で覚える）は“既…也…”と共起によって、つまり、両方を満足することではなく、前件であれ、後件であれ、一つを選択するという意味を表す。しかし、“既…又…”は前件と後件を両方とも実現する、あるいは両方の特徴

を重ねるという機能を果たしているのです。このような機能を担うことができない。

4.2. 前件と後件が異なる主語を有する場合

並列を表すものは、多くの場合同一主体の動きや属性を表しているが、異なる主体の動きや属性を表す場合もある。

- (21) 在高价消费面前，学生自身既不要盲目地去“追求生活质量”，社会也把他们推向“消费神坛”。（《政经·国际》2003年8月15日）（高い消費に向き合う場合、学生自身は盲目的に生活の質を追求しないように、社会も彼たちを消費する方向へと導かないようにしなければならない。）
- (22) 我们就以前所曾讲过的话说起，说话既比较方便，语意也自然更明瞭些。（《唯物辩证法读本》1934年3月16日）（私たちは以前の話題について話そう。話しやすいし、言葉の意味ももっと明瞭である。）
- (23) 我国解放前食品卫生基础十分薄弱，食品卫生既不成其为科学，监督管理也只是少数大城市的点缀，与亿万穷苦群众饥不择食毫不相干。（《营养与食品卫生学》1987年6月1日）（我が国は成立する前の食品の衛生管理の基礎は極めて弱い。食品の衛生管理は科学的でもないし、監理もただ数少ない大都市の飾り物だけで、数えきれない民衆たちが飢えては食を択ばずということは全く関係のないものである。）
- (24) 不过你没有一个预先定好的目的地，心里抱了很大的希望，信步乱走，看看这里既不能满意，那里也有点欠缺，路愈走愈远，精神已经疲乏了，还是找不到完全满意的对象，画兴就要减去大半，看看时候不早了，只得勉强敷衍了事，决不能得良好的结果。（《虞山秋旅记》1934年11月1日）（しかしながらあなたは事前に目的地を決めていない。心は大きな希望を抱いていた、足の向きに任せ、ここではあなたに満足ができないし、そこにも欠点がある。道がますます遠くになって、精神的にはもう疲れているが、完全に満足できる対象が見つけれない。絵を描く趣は大幅に下がる。時間も無くなるし、いい加減に仕事をやっつけるしかない。決していい結果が出ない。）

例 (21) (22) (23) (24) のような文では、いずれも異なる主体の動きを表している。例 (21) の場合、“既”に前置する主語は“学生自身”（学生自身）であり、“也”

に前置する主語は“社会”である。例 (22) (23) (24) も同じように、それぞれの前件の主語は“说话”“食品卫生”“这里”であり、後件の主語は“语意”“监督管理”“那里”である。いわば、主語は唯一ではないである。

なぜここで“既…也…”しか容認されないのか。構文的条件からみると“既…又…”は並列の機能を果たす場合、複数の動作がある、もしくは複数の物事が自分なりの特徴を持つといったものを表している。さらに、“既…又…”によって構成された文は、同じ動作が頻繁に発生することを表す、あるいは同じ状態が再び出現することを表す以上、動作の主体は一つしか認めない。つまり、“又”が並列関係を果たす場合、複数の主語によって動作の並列を左右することができないように思われる。このことに対して、“既…也…”が文中に現れ、並列を表す場合、相対的に自由であり、異なる主体の動きを表してもかまわない。

4.3. 禁止のモダリティを含んだ文に現れた場合

現代中国語では禁止を表す構造はいくつかあるが、その中では、“不要”と共起することが一番多い。“不要”は「…をしない」もしくは「…をするのはいけない」という意味を表す。このような場合、“既…也…”しか容認されない。

- (25) 民警在电话里告诉他，既不要转账，也不要说出账号和密码，并建议他现在离开银行。（《人民网》2012年12月11日）（警察官が電話で彼に振り込まないように、口座番号と暗証番号も言わないように、今すぐに銀行から出てくるように、というアドバイスをした。）
- (26) 删除任何连锁电子邮件或不需要的邮件。对这类邮件，既不要转发，也不要回复发送方。（《人民网》2010年5月24日）（アクセス付けのメールや無用メールは全て削除しよう。このようなメールに対して、転送も返事もしてはいけない。）
- (27) 云升很喜欢自己的孩子，但不愿让子女有特殊感，忠告他们“既不要只抬头看天，一心只想当部长，省长，这种人没人敢用；也不要只管低头走路。这两种人都会摔跤”。（《环球时报》第九版人物春秋2003年8月4日）（雲さんは自分の子供を可愛がっているが、子供に自分が特別というような思いをさせない。子供に「いつも頭をあげて空を見るのがいけない、ひたすら部長や省長とかになりたい。このような人はだれでも任命する恐れがある。いつも頭を下げたまま歩くのもいけない。こ

の二種類の人間は挫ける。)

- (28) 嘴唇抵抗力差，干裂起了死皮，既不要舔也不要咬死皮，因为唇部水分蒸发后，容易引起深部结缔组织的收缩和唇粘膜的发皱，反而会使嘴唇更加干燥。(《海南视窗—医药健康》2014年12月3日)(唇はウイルスに弱くて、乾いてひび割れた場合、死んだ皮を舐めることも噛むこともしないほしい。それは唇の水分が蒸発すると、内部複雑の組織を収縮すると唇粘膜の皺を引き起こりやすく、逆に唇がより乾燥になる。)

例 (25) ~ (28) に示すように、“不要”の後続要素がいずれも「話し手が現状、事実からみると、話し相手が以上述べたことを抑える」もしくは「…をしてはいけない」という意味を表している。このような禁止のモダリティを含んだ文では、“既…也…”しか使えない。

4.4. 前件と後件が累加関係を表す場合

このような文は、“既…也…”に後続するものが“而是”で話し手の伝えたいことを導く形になる文である。このような文では“既…也…”しか容認されない。

- (29) 不少经济学家断言，21世纪国际经济竞争的基本单位既不是企业，也不是国家，而是城市群。(《人民网》2003年7月7日)(数多くの経済学者が21世紀国際経済競争の基本単位は企業でも、国家でもない。都市群であると断言した。)
- (30) 这时他忧虑的既不是个人的得失，也不是路线的是非，而是苏区和红军的生死存亡。(《地球的红飘带》)(いま彼が心配しているのは個人の損失でもないし、ルートの良し悪しでもない。心配しているのは共産党支配の区域と共産党軍の生死である。)
- (31) 企业的产品是茶，但打开精美的包装一看，里面既不是茶叶，也不是茶包，而是一种粉末。(《南方日报》2012年11月23日)(企業の商品は茶であるが、その美しい詰め物を開けると、茶の葉でもないし、ティーバッグでもない。それはある粉末である。)
- (32) 男人的性冲动既不是缺陷，也不是过失，而是上帝的创造。(《人民网》2013年2月16日)(男性の性的な衝動は欠点でもないし、過ちでもない。それは神様の独創である。)

例 (29) (30) (31) (32) に示すように、“既不是”も“也不是”も後ろに接続するものは名詞あるいは名詞フレーズである。例 (29) の“不是企业”(企業ではない)

“不是国家”(国ではない)は名詞述語である。両者の意味関係は累加関係である。このような文における“既…也…”は“既…又…”で置き換えられない。

5. “既…又…”も“既…也…”も使えるケース

このケースについては、さらに①能力可能と許可を表す助動詞と共に起する場合、②変化の結果を表す“V+了”が文中に現れ、“又”“也”に後続する場合、③判断を表すものが後続する場合、④所有、存在を表す“有”が後続する場合の四つに分類することができる。

5.1. 可能の意味を表す文に現れた場合

現代中国語では、能力・許可を表す助動詞として“能”“会”“可以”などがあげられる。これらのものは動詞を伴い、動詞フレーズを形成することができる。そのような動詞フレーズは“既…又…”“既…也…”の両方と共に起することができる。

- (33) 宋徽宗既能写诗，又能绘画。(《中国新闻网》2015年2月6日)(宋の皇帝徽宗は詩も書けるし、絵も描くことができる。)
- (34) 她既能创作，也能演唱。而她的母亲黄爱莲是古典音乐演奏家，还擅长写作，舞太极。(《人民网》2013年4月8日)(彼女は創作もできるし、舞台上で歌を歌うこともできる。しかも彼女のお母さん黄さんは古典音楽の演奏家であり、文学作品も創作し、太極拳もできる。)
- (35) 在该馆，您既能避暑，又能观看免费的展览，还可以参加一些培训活动。(《洛阳网》2014年7月23日)(ここで、あなたは避暑することができるし、無料で展覧品を見ることもできる。また、わずかな訓練活動もできる。)
- (36) 在这家“银行”，既能存粮，又能取粮，还可收取利息。(《人民网》2014年7月9日)(この「銀行」で、食糧を蓄えることもできるし、取り出すこともできる。また、利子もとることができる。)
- (37) 既能是恋人又能是队友，给你提供精神陪伴的同时又能帮你战斗，游戏里的主角真是好命啊，遇到这样一个好妹子。(《人民网—游戏》2014年10月23日)(恋人もチームメンバーにもなれる。あなたに精神的な付き合いを提供する同時に戦いの助けをする。ゲーム内の主人公の運命はほんとにいいな、こんないい女に会えるなんて。)
- (38) 该手机既能玩游戏也能打电话发短信玩社交网络，内置其免商店APP应用。(《飞象网》2014年09月28

日) (この携帯はゲームも遊べるし、電話やメールまたは社交もできる。またアップルをアップロードするにはストアがいらない。)

例 (33) (34) の“能”は能力可能を表し、例 (35) (36) の“能”は許可の意味を含意する。また、例 (37) (38) は状況可能の意味を表していると思われる。例 (33) ~ (38) に示すように、“能”は「能力可能」「許可」「状況可能」のように下位分類することができるが、並列を表す場合、“既…又…”とのみならず、“既…也…”とも共起することができる。

5.2. 変化の結果を表す“V+了”が文中に現れた場合。

現代中国語の非意志動詞が、“了”を伴い用いられた場合は、主節に導かれた結果を表す。このような文では、“既…又…”だけではなく、“既…也…”も用いられる。

(39) 影响家庭幸福的因素除了夫妻关系，代际关系等家庭关系以外，“家人团聚”对家庭幸福的影响，已经超过“孩子有出息”“有房有车”等因素，这既体现出了人们现在普遍的精神需求，也体现出了人们在价值追求上的一种本真回归。(《郑州日报》2014年5月21日) (家庭の幸福に影響するのは夫婦関係、年齢差別などの家庭関係以外、「家族の皆が一緒にいる」は家庭幸福の影響にとって、「子供を立派に育てる」「部屋も車も有する」などの原因を超えている。これは人びとが今普遍的な精神の要求と人びとが価値を追求する途中で本質への目覚めを体现したのだ。)

(40) 整个活动中，职工踊跃参加，氛围浓烈，既体现出了群众性、趣味性，也展现出了该车间广大职工的风采和积极向上的精神风貌。(《哈尔滨铁路局》2014年9月1日) (職員の皆は積極的にイベントに参加する。民衆性と興味性だけではなく、この作業場で数多くの職員たちの立派な振る舞いと向上心を体现した。)

(41) 这样的表现既简单化了人性，表面化了社会问题，又极端化了社会情绪。(《人民网 - 人民日报》2013年10月24日) (このような表現は人間性を単純化し、社会問題を表面化にするだけではなく、民衆の気持ちも極端化した)

(42) 他们继而发问，考这样“没有多少用处”的证书，既“白花了家长的血汗钱”，又“白费了自己时间”，能不能不考？(《人民网》2014年2月10日) (このようなほとんど用がない資格を受けるには、親のお金を無駄にただけではなく、自分の時間も無

駄にした。受けなくてもいい。彼らは聞き続きた。)

例文 (39) (40) (41) (42) に示すように、“体现出了”“展现出了”“简单化了”“极端化了”“白花了”“白费了”はいずれも「…が…になった」あるいは「…をした」という意味を表している。このような“V+了”の構造では一般的に、従属節が主節の影響を受けた、結果を表す。このような文では、“既…又…”“既…也…”の両方が容認される。

5.3. 判断文に現れた場合

中国語では判断を表す動詞はもっぱら“是”“不是”と“非”に集中している。つまり、“既(是/不是/非)…又…(是/不是/非)”と“既(是/不是/非)…也…(是/不是/非)”のような構造である。このような構造では、“既…又…”と“既…也…”の両方も容認される。

(43) 大蒜，既是中医的常用药，又是我们生活中常用的食品，尤其在炎炎夏日，大蒜更是我们增进食欲的调味品。(第十四版《医药前沿·中医中药》2003年7月31日) (ニンニクは漢方医学によく使われる薬であり、私たち生活の中でよく使う食品である。特に炎暑の夏には、ニンニクは私たちの食欲を促進する調味料である)

(44) 加入WTO，既是企业之间的竞争，也是国家之间的竞争。(《经济参考报》2003年7月16日) (WTOに加盟するのは、企業間の競争でもあり、国家間の競争でもある。)

(45) 既不是智力问题，又不是能力问题，那是什么问题？(《手机看新闻》2012年3月20日) (知能の問題でもないし、能力の問題でもない。だったら何の問題。)

(46) 当时感觉建筑学既不是纯粹的人文学科也不是纯粹的理工学科，就选了这个。(《华商报》2014年6月25日) (その時建築学は純粹の人文学科でもないし、理工学科でもないと思っているから、これを択んだ。)

(47) 随着事故原因调查的展开，交警部门发现，“3·01”，“3·06”重特大交通事故既非遭遇恶劣天气，又非遭遇复杂路况，皆由司乘人员的交通安全意识淡薄引起的。(《羊城晚报》2009年3月17日) (事故原因の調査の展開に伴って、警察たちは「3·01」「3·06」といった重大な事故は悪い天気会うことでもないし、複雑な交通状況でもない。全ては運転士さんの安全意識が足りないという原因に

なったのであると気が付いた。)

- (48) 专家介绍, 这个品种的转基因玉米主要作为饲料, 既非甜玉米也非黏玉米, 但当煮熟的玉米出炉后, 现场不少网友纷纷赞叹“很香”、“好吃”。(《京华时报》2013年9月8日)(専門家は「このタイプの遺伝子コーンは主にさえとして使われる。甘いコーンでもないし、ソフトコーンでもないが、作り上げて、試食したら、現場にいる多くのネットの友達に美味しい、うまいという評価をもらった」と紹介した。)

例(43)(44)に示すように、“是中医的常用药”“是我们生活中常用的食品”といい、“是企业之间的竞争”“是国家之间的竞争”といい、いずれも“是”で主語の特徴あるいは属性を表している。例(45)(46)(47)(48)の“不是智力问题”“不是能力问题”“不是纯粹的人文学科”“不是纯粹的理工学科”“非遭遇恶劣天气”“非遭遇复杂路况”“非甜玉米”“非黏玉米”も同じように、否定の判断を表す文である。このような文では、“既…又…”と“既…也…”は互いに置き換えることができる。

5.4. 所有・存在を表す文に表れた場合

中国語では、動詞としての“有”が所有・存在を表している。所有・存在の意味を表す場合、肯定文と否定文とは関係なく、“既…又…”と“既…也…”の両方とも容認される。

- (49) 饺子最大的优点就是既是主食, 又兼副食, 既有荤菜, 又有素菜, 营养素比较全面。(《人民网-安徽频道》2015年2月25日)(餃子の最も大きな特徴は主食でありながら副食であることだ。中身は肉もあるし、野菜もある。栄養バランスがいい。)
- (50) 与那时的“盛况”相比, 如今的夜市既有人气, 又有秩序。(《解放日报》2014年8月9日)(当時の「盛况」と比べると、いま夜の市場は人気もあるし、秩序もある。)
- (51) 五千年的中国历史里既有苦难, 也有辉煌。(《华西都市报》2015年1月29日)(中国には五千年歴史の中に、苦勞の時代もあるし、輝かしい時代もある。)
- (52) 对于她来讲既有新奇感也有挑战性。(《日新华网》2015年1月15日)(彼女にとって目新しさも感じるし、チャレンジ性もある。)

例文(49)～(52)に示すように、“有”に後続するの“荤菜”“素菜”“人气”“秩序”“苦难”“辉煌”“新奇”“挑战性”はいずれも名詞であり、「…あり、…もある」

という意味を表している。このような文では、後続する名詞は種類、属性、感覚、認識などの評価性をもつものである。このような意味・特徴を持つものは“既…又…”とだけではなく、“既…也…”とも共起することが可能である。

否定形式となる場合、“没”が文中に現れ、存在しない、持っていないといった意味を表す。

- (53) 想来, 既没钱, 又没权的普通人别说是“交换”, 恐怕找书画大家当面请教也不是易事。(《观点频道》2014年12月31日)(普通に考えれば、お金もないし、権力も持っていない普通の人間は「交換」は言うまでもなく、恐らく書画の名家に教えを求めめるにも簡単ではないでしょう。)
- (54) 一路走来, 他从餐饮转战 IT 界, 被人质疑三心二意; 既没资金也没人才, 他却要做专业技术服务公司, 被朋友称作疯子创业; 事业刚刚起步, 他公司团队的核心成员出走, 还带走一个20万元的项目……(《中国青年报》2015年1月27日)(昔から今まで、彼は飲食業からIT業に移り変わって、世間の人に優柔不断と疑われ、資本金もないし、人材もないものの、彼はプロの技術サービス会社を作りたい。友だちに事業作りの狂人と呼ばれている。)
- (55) 俺心思了半天, 总觉得不是那么回事儿: 小区既没增加用电设备, 又没额外施工用电, 电字咋就那么多呢?(《国网辽宁电力》2014年9月4日)(「団地は電力が必要な設備も増えていないし、定額外の工事もしていないのに、なぜ電気料はそんなに多いのでしょうか。」私はよく考えるが、考えれば考えるほど分からなくなる。)
- (56) 我既没带吃的也没带玩具, 就把手机打开, 找了儿张小兔子的图片, 一下就吸引了孩子们。(《江苏视窗-教育》2014年11月24日)(私はおやつも玩具も持っていないので、携帯を開けて、ウサギの写真を何枚か探し出して、子ども達に見せて、いきなり彼達の心を奪った。)

例(53)(54)のように、“钱”“权”“资金”“人才”はいずれも名詞であり、例(55)(56)の“增加用电设备”“额外施工用”“带吃的”“带玩具”は動詞フレーズである。このような文環境では“既…又…”も“既…也…”も使用されうる。

6. まとめ

以上では、どのようなものが、“既…又…”“既…也…”と共起することができ、“既…又…”“既…也…”と共起することができないか、または、“既…又…”“既…也…”の両者とも共起することができるかについて、どのような意味的な制限、構文的な制限が課せられているのかを確認した。分析の結果を改めてまとめると、次のようになる。

- ① “而”が“又”の前に来る場合、前件と後件が矛盾関係である場合または前置するものが疑問詞である場合は、“既…也…”が排除される。
- ② 一部並列、選択並列の意味を表す場合、前件と後件が異なる主語を有する場合、禁止のモダリティを含む場合、前件と後件が累加関係である場合は“既…又…”が制限される。
- ③ “既…又…”も“既…也…”も可能の意味を表す文、変化の結果を表す“V+了”の文、判断を表す文、所有・存在を表す文に現れうる。

注

- 1) いわゆる中国語の“关联词组”は、前件と後件との間に統語的・意味的なつながりがある形式を指す。
- 2) 選択並列とは、意味的に前件と後件である事柄の中に、一つを選ぶという並列関係である。
- 3) 中国語の疑問詞には“怎么”“怎么样”“如何”“谁”“什么”“哪儿”などある。
- 4) 中国語における疑問終助詞は“呢”“吗”などである。
- 5) 中国語では禁止を表すモダリティのマーカージが多いが、並列を表す“既…也…”と共起できるものは主に“不能”“不可以”“不要”“不应该”“不(允)许”の五つである。
- 6) 中国語における“非意志动词”は日本語の非意識動詞とほぼ同じようなものである。

参考文献

- 吕叔湘 (1979). 《汉语语法分析问题》北京: 商务印书馆
 赵元任 (1979). 《汉语口语语法》北京: 商务印书馆
 吕叔湘 (1982). 《中国文法要略》北京: 商务印书馆
 朱德熙 (1982). 《语法讲义》北京: 商务印书馆
 刘月华 (1983). 《实用现代汉语语法》北京: 外语教学与研究出版社
 邢福义 (1985). 《复句与关系语句》黑龙江人民出版社
 王力 (1989). 《汉语语法书》北京: 商务印书馆
 赵永新 (1995). 《语言对比研究与对外汉语教学》华语教学出版社
 沈开木 (1996). 《现代汉语话语语言学》北京: 商务印书馆
 房玉清 (2001). 《实用现代汉语语法》北京大学出版社

- 邢福义 (2001). 《汉语复句研究》北京: 商务印书馆
 马真 (2004). 《现代汉语虚词研究方法论》北京: 商务印书馆
 彭小川, 李守纪, 王红 (2004). 《对外汉语教学语法释疑 201 例》北京: 商务印书馆
 金立鑫 (2005). 《对外汉语教学虚词辨析》北京大学出版社
 日本語記述文法研究会 (2008). 『現代日本語文法⑥』くろしお出版
 奥水俊, 島田亜実 (2009). 『中国語わかる文法』大修館書店
 日本語記述文法研究会 (2009). 『現代日本語文法②』くろしお出版
 朱德熙 (2010). 朱德熙文集 3 北京大学出版社
 史金生 (2011). 《现代汉语副词连用顺序和同现研究》北京: 商务印书馆